

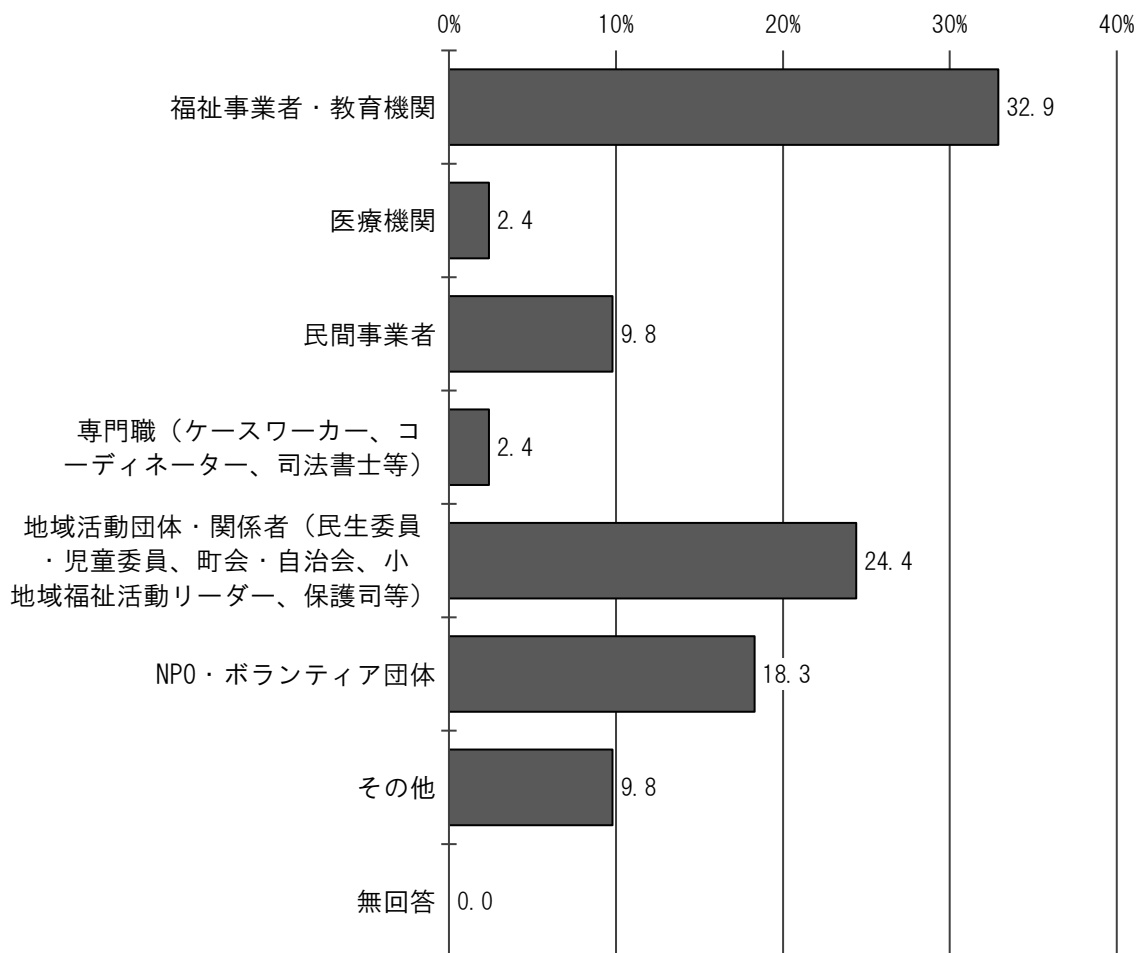
3 地域福祉関連団体調査結果

(1) 貴団体・事業者のことについて

問1 団体区分（単数回答）

「福祉事業者・教育機関」が32.9%と最も多く、次いで「地域活動団体・関係者（民生委員・児童委員、町会・自治会、小地域福祉活動リーダー、保護司等）」が24.4%、「NPO・ボランティア団体」が18.3%となっています。

n=82

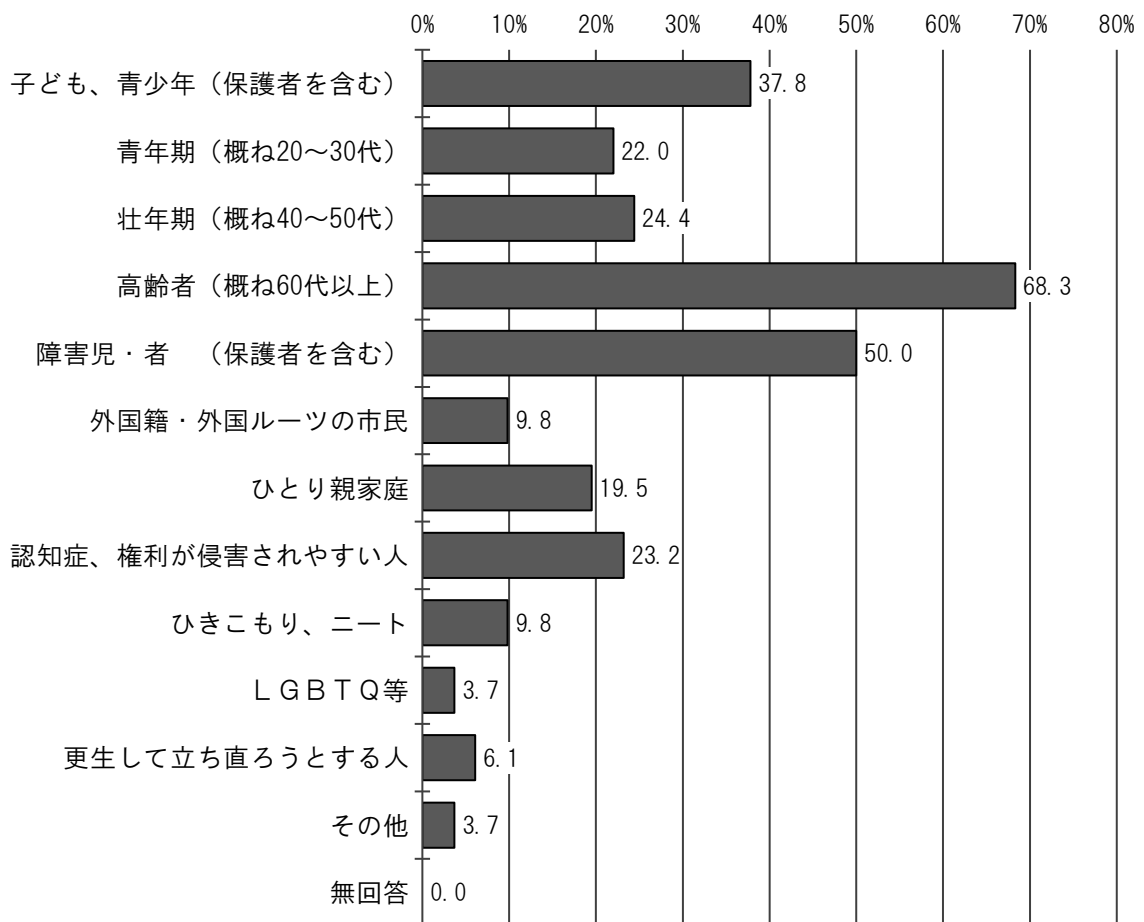


問1 主な対象者・世帯

(複数回答)

「高齢者（概ね60代以上）」が68.3%と最も多く、次いで「障害児・者（保護者を含む）」が50.0%、「子ども、青少年（保護者を含む）」が37.8%となっています。

n=82

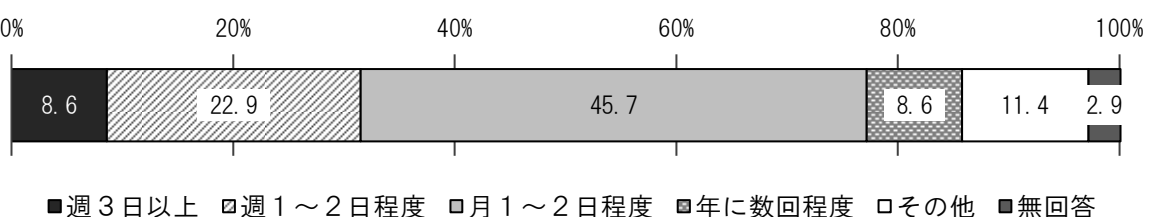


問2 団体区分が「5 地域活動団体・関係者」「6 NPO・ボランティア団体」の方
貴団体は、どのくらいの頻度で活動を行っていますか。

(単数回答)

「月1～2日程度」が45.7%と最も多く、次いで「週1～2日程度」が22.9%、「その他」が11.4%となっています。

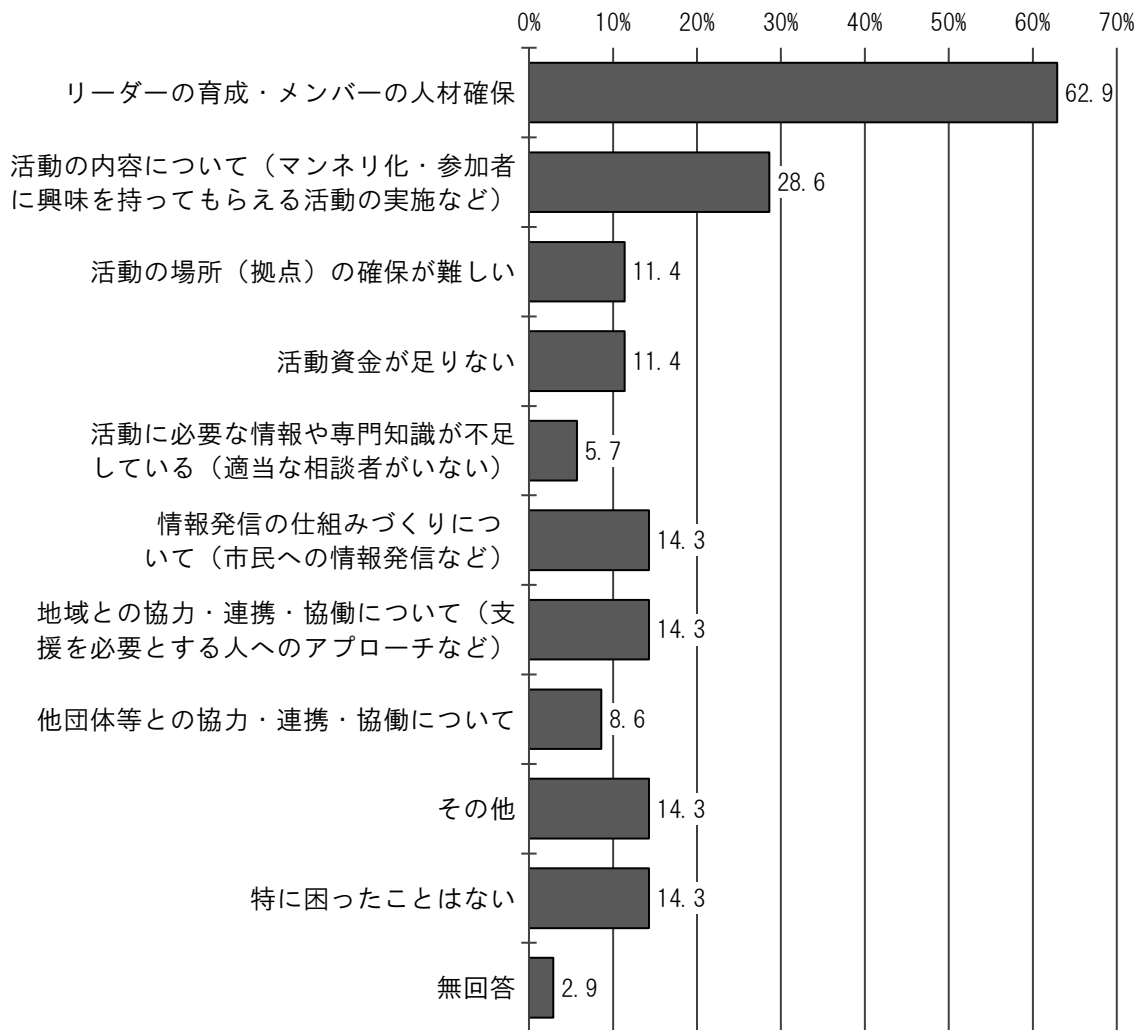
n=35



問3 団体区分が「5 地域活動団体・関係者」「6 NPO・ボランティア団体」の方
貴団体が活動を行ううえで困っていることはどのようなことですか。（複数回答）

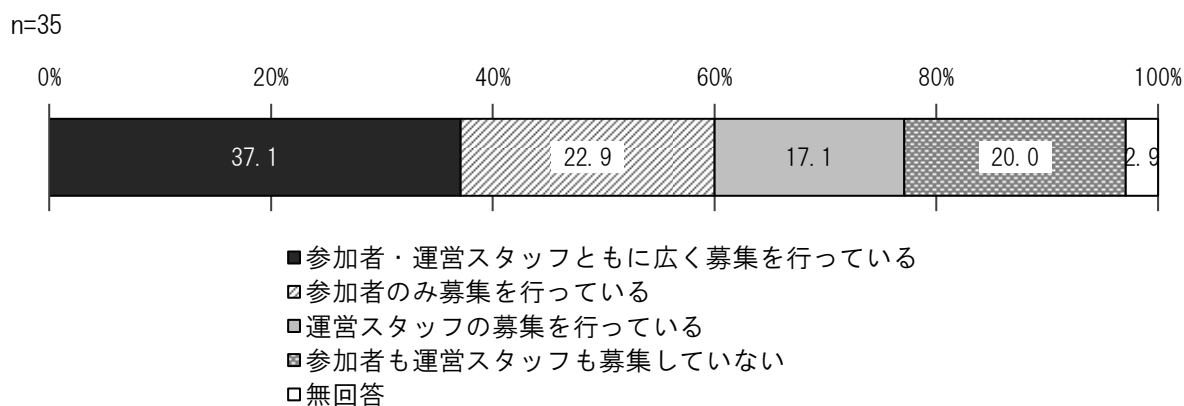
「リーダーの育成・メンバーの人材確保」が62.9%と最も多く、次いで「活動の内容について（マンネリ化・参加者に興味を持ってもらえる活動の実施など）」が28.6%、「情報発信の仕組みづくりについて（市民への情報発信など）」「地域との協力・連携・協働について（支援を必要とする人へのアプローチなど）」「その他」「特に困ったことはない」が14.3%となっています。

n=35



問4 団体区分が「5 地域活動団体・関係者」「6 NPO・ボランティア団体」の方
貴団体は現在参加者・運営スタッフの募集を行っていますか。 (単数回答)

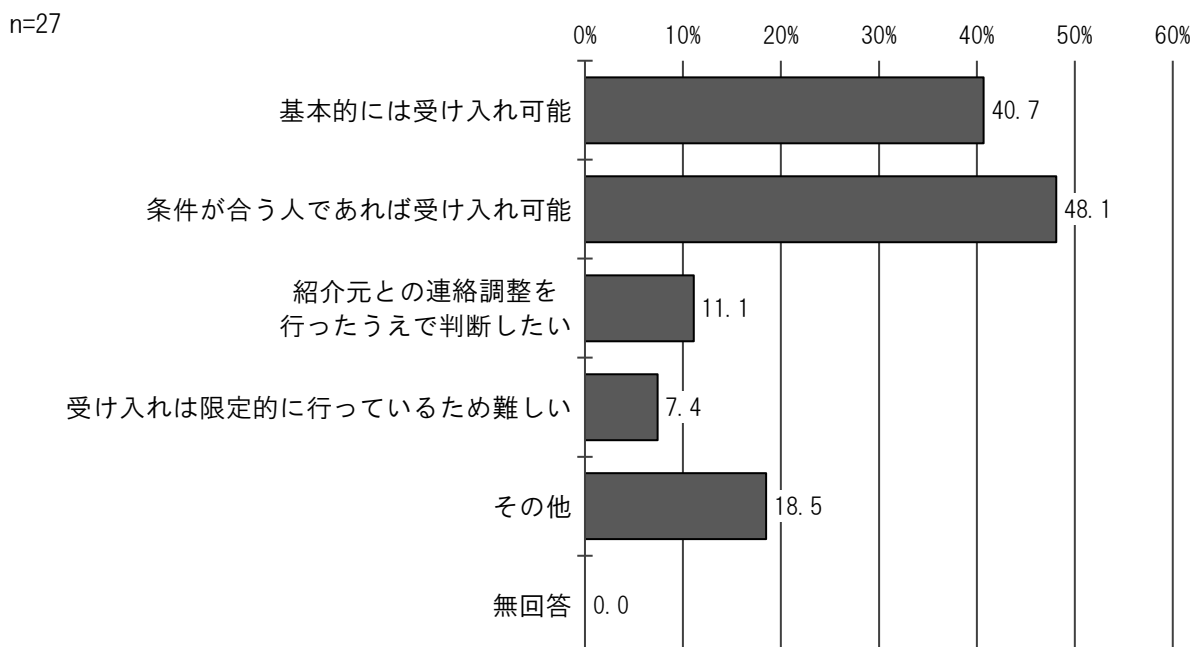
「参加者・運営スタッフともに広く募集を行っている」が37.1%と最も多く、次いで「参加者のみ募集を行っている」が22.9%、「参加者も運営スタッフも募集していない」が20.0%となっています。



問5 問4で「1」～「3」(募集を行っている)と答えた方

行政や社協、地域活動団体等から、新規参加者・運営スタッフの紹介があった場合、貴団体での受け入れは可能ですか。 (複数回答)

「条件が合う人であれば受け入れ可能」が48.1%と最も多く、次いで「基本的には受け入れ可能」が40.7%、「その他」が18.5%となっています。

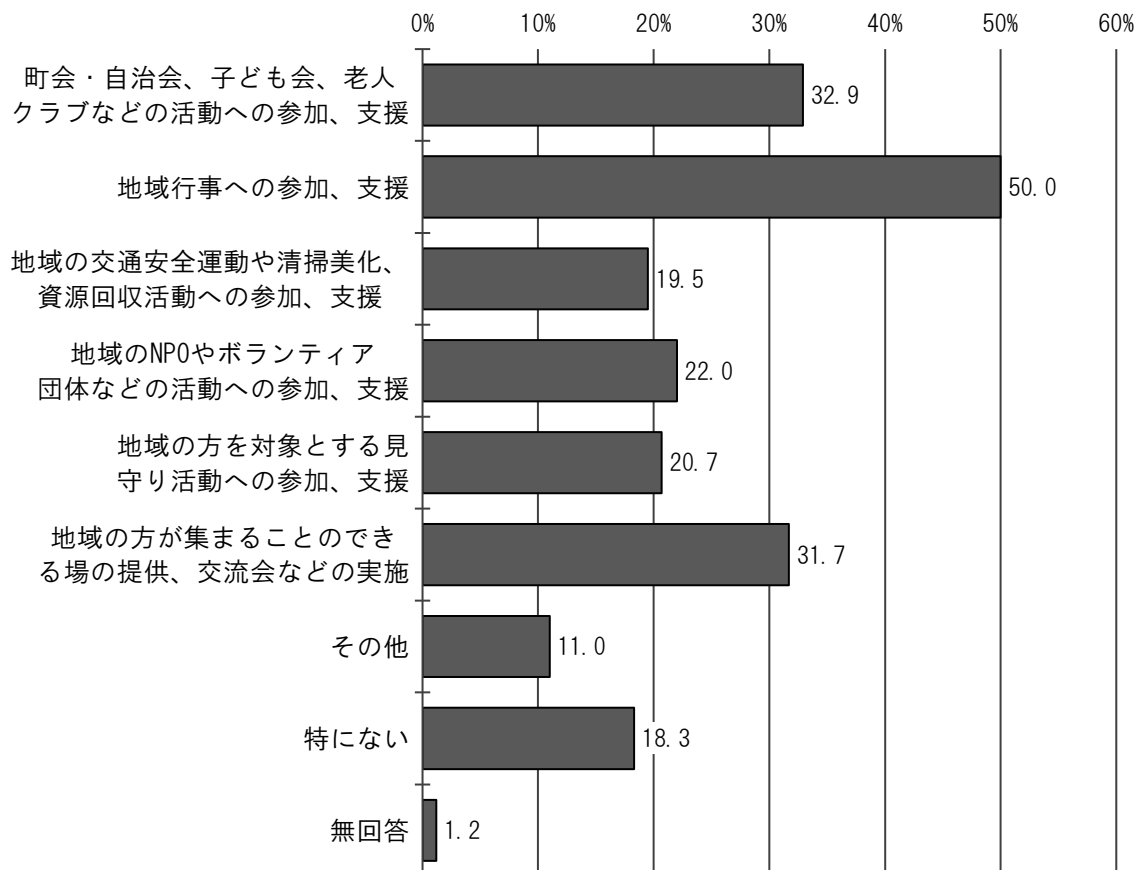


(2) 地域での取組について

問6 貴団体・事業者の活動の中で、地域と一緒にいることや、地域に向けて行っていることはありますか。(複数回答)

「地域行事への参加、支援」が50.0%と最も多く、次いで「町会・自治会、子ども会、老人クラブなどの活動への参加、支援」が32.9%、「地域の方が集まることのできる場の提供、交流会などの実施」が31.7%となっています。

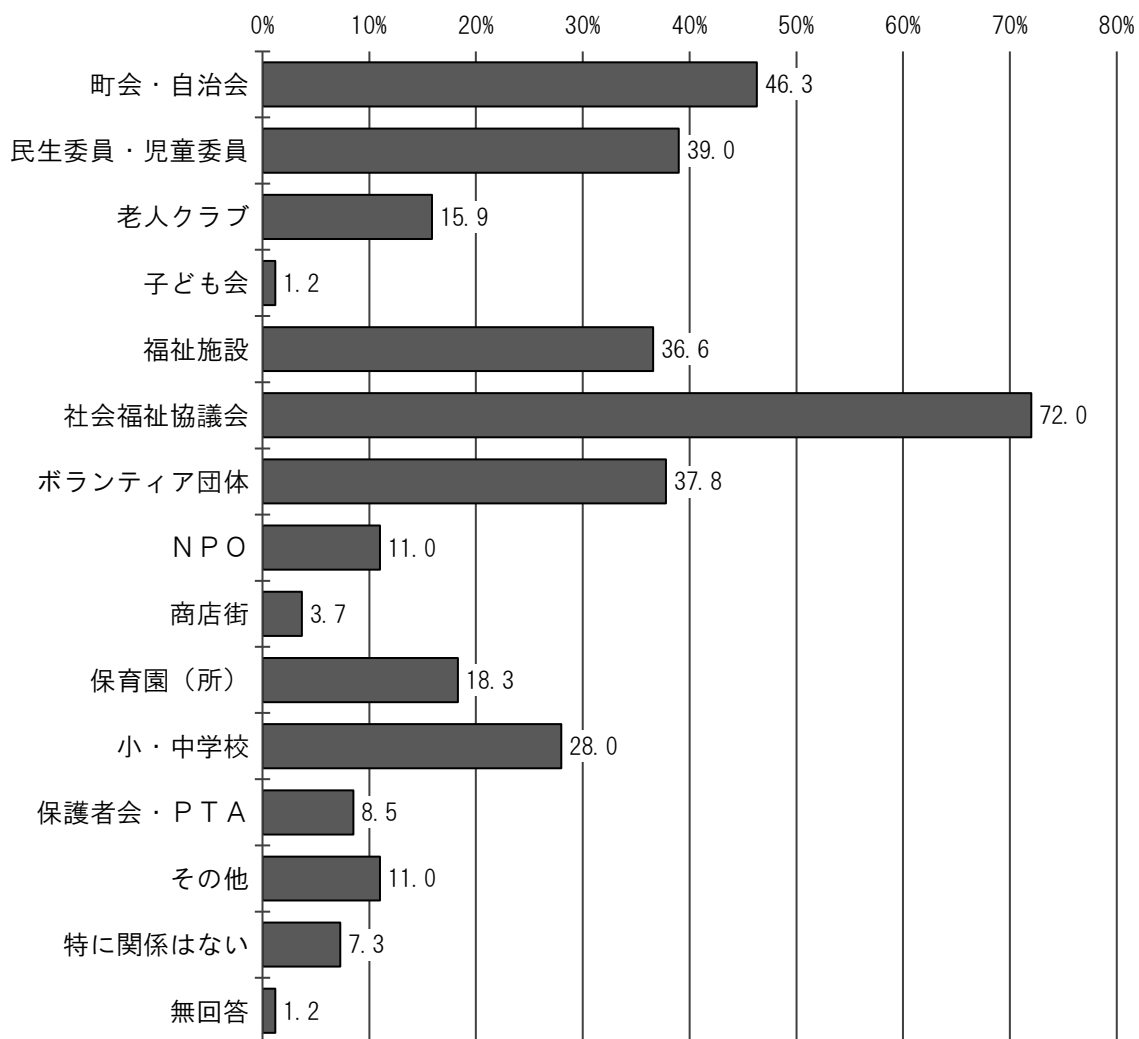
n=82



問7 貴団体・事業者では、地域活動を行う上で他の団体や機関等との交流や連携、協力関係がありますか。
(複数回答)

「社会福祉協議会」が72.0%と最も多く、次いで「町会・自治会」が46.3%、「民生委員・児童委員」が39.0%となっています。

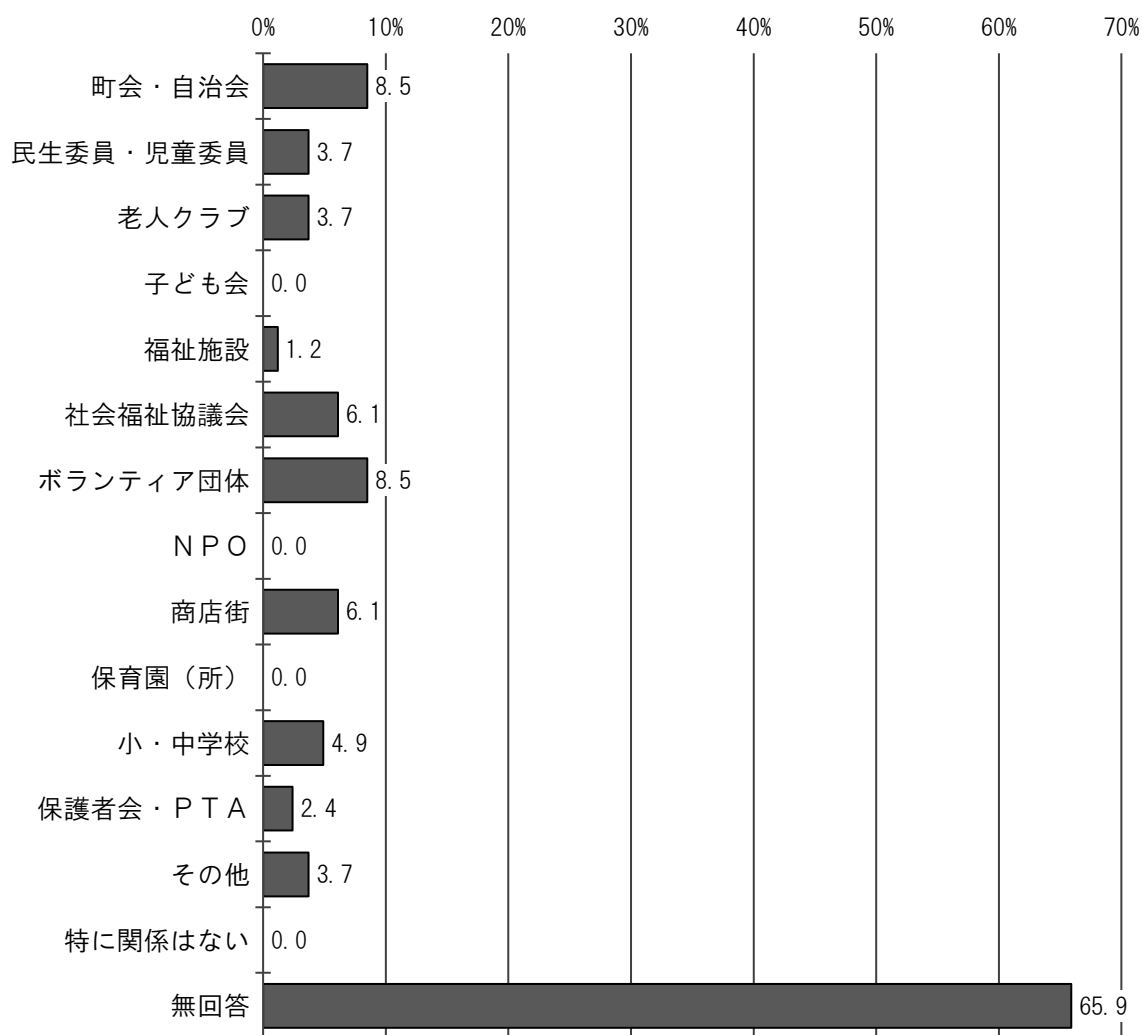
n=82



問8 今後、連携していきたい他の団体や専門職はありますか。該当する番号を選び（複数回答可）、連携したい具体的な内容をご記入ください。（自由記述）

「町会・自治会」「ボランティア団体」が8.5%と最も多く、次いで「社会福祉協議会」「商店街」が6.1%となっています。

n=82



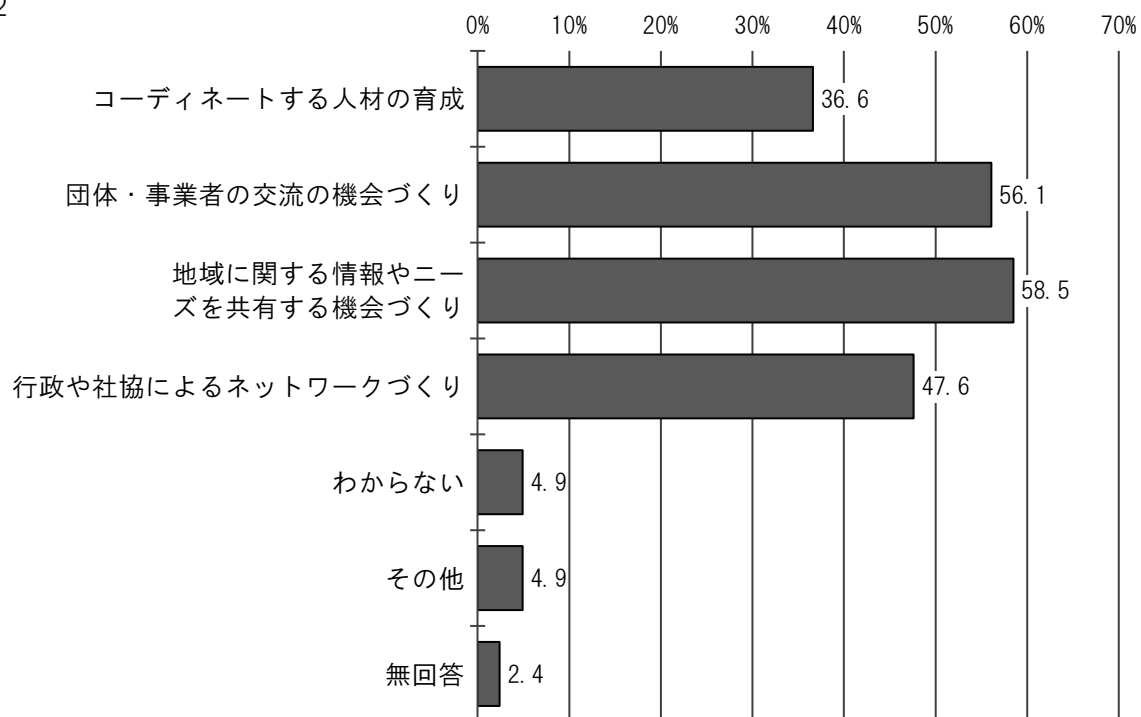
団体区分	連携したい具体的な内容
連携先：町会・自治会	
福祉事業者・教育機関	自治会、町会との連携を更に強めて行きたい。
民間事業者	イベント活動・相談活動。
その他	町会・自治会より当センターに会員として入会できる機会を設けたい。
その他	地域での障がい者の認知、支援等。
連携先：民生委員・児童委員	
NPO・ボランティア団体	生きづらさを感じている人・生活困窮者に相談場所の一つとして案内して欲しい。
NPO・ボランティア団体	一人暮らしで話し相手がない方への傾聴。
連携先：老人クラブ	
民間事業者	健康に対する意識づくり等、ACPについて。
民間事業者	イベント活動・相談活動。
連携先：福祉施設	
福祉事業者・教育機関	人材確保について。
連携先：社会福祉協議会	
地域活動団体・関係者	サロン活動への協力。
地域活動団体・関係者	やはり専門の知識もある方達ですので指導が受けられる。
その他	材料や容器の管理と保管の場所を貸して欲しい。
その他	障害児・者の親は多くの葛藤や悩みを抱えています。同じ立場だからこそ分かり合える。専門家とはまた違う高い共感性を生かして傾聴の機会の場を作りたい。
連携先：ボランティア団体	
地域活動団体・関係者	同じ小地域活動の団体との情報交換交流。各ボランティア団体との情報交換。
地域活動団体・関係者	ボランティア団体との連携の仕方。
NPO・ボランティア団体	他団体（未就学児対象）の活動の趣旨や活動日等の一覧表があると、可能な協力体制が構築できる。
NPO・ボランティア団体	団体の活動内容。
NPO・ボランティア団体	対面傾聴をされている傾聴ボランティア団体。電話傾聴スタッフとして参加して貰えるか？
NPO・ボランティア団体	市民大学（町田や東松山など事例あり）を創設して、生涯学習の場と兼ねて市の計画に沿って「くらしと健康」「歴史・郷土」「国際・文化」など学ぶ場の提供。
その他	現状も協力し合っているので継続希望。

団体区分	連携したい具体的な内容
連携先：商店街	
福祉事業者・教育機関	職場実習の受け入れ等をお願いしたい。
福祉事業者・教育機関	商店だけでなく企業も含め資源、場所、知識、技術の提供を受けたい。
医療機関	喫茶店等の飲食店でのオレンジカフェの開催。
地域活動団体・関係者	商店街とイベントなど開催し障害者の啓蒙活動をしてみたい。
NPO・ボランティア団体	活動全般のご協力として食品のご提供、会場のご提供のお願いをしたいと思います。
連携先：小・中学校	
福祉事業者・教育機関	福祉教育の一環として当事者を交えた交流会や当事者（発達障害理解）をモデルにした疑似体験プログラム等の体験。
福祉事業者・教育機関	事業開始の折、児童発達支援に関連する機関との繋がりの中で展開している自治体で求められる福祉ニーズの抽出。
地域活動団体・関係者	小、中学校との連携は大切と思う。
連携先：保護者会・PTA	
NPO・ボランティア団体	経済的にお困りの子育て世帯への情報提供のご協力。
連携先：その他	
福祉事業者・教育機関	事業開始の折、児童発達支援に関連する機関との繋がりの中で展開している自治体で求められる福祉ニーズの抽出。
民間事業者	教育委員会、医療機関、保育所等。
地域活動団体・関係者	犯罪予防、再犯防止の啓発活動。
連携先：町会・自治会、民生委員・児童委員	
地域活動団体・関係者	高齢者の見守り活動。
連携先：町会・自治会、老人クラブ	
地域活動団体・関係者	同じ地域に住んでいるので顔見知りでもあるので、話し合いや相談も出来るので。
連携先：町会・自治会、社会福祉協議会	
地域活動団体・関係者	町会、自治会との連携は大切と思う。
連携先：小・中学校、保護者会・PTA	
NPO・ボランティア団体	令和5年度では不登校児童・生徒数が150名を超え、中学生では都平均以上となっている現状をふまえ、子どもの昼間の居場所やフリースクール、親の会の活動につなげる

問9 団体・事業者同士の連携、協力関係を生むためには、どのような取組が必要だと思いますか。（複数回答）

「地域に関する情報やニーズを共有する機会づくり」が58.5%と最も多く、次いで「団体・事業者の交流の機会づくり」が56.1%、「行政や社協によるネットワークづくり」が47.6%となっています。

n=82

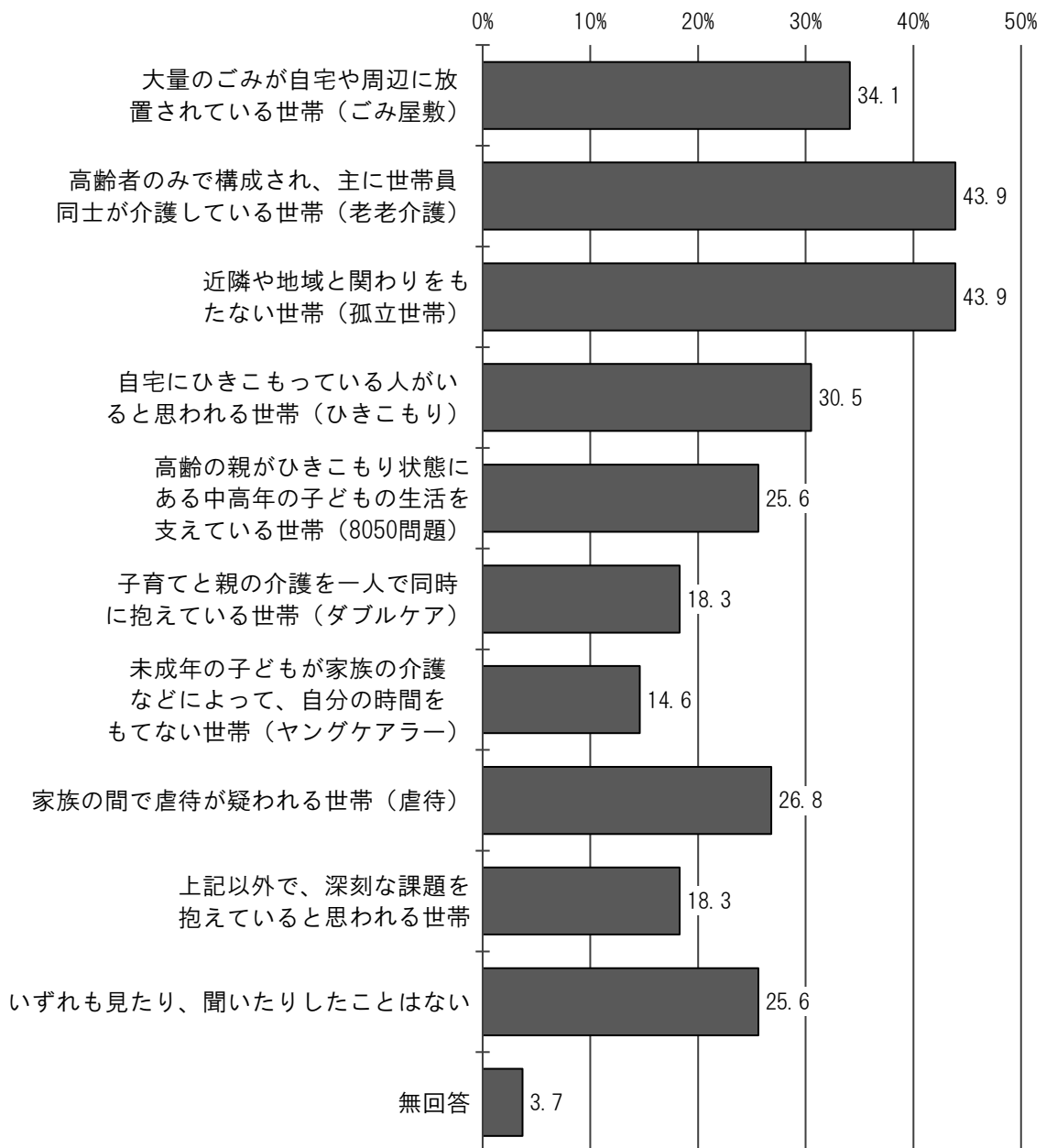


(3) 活動（事業）を通して見える地域の状況について

問10 活動（事業）を通して、次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。
（複数回答）

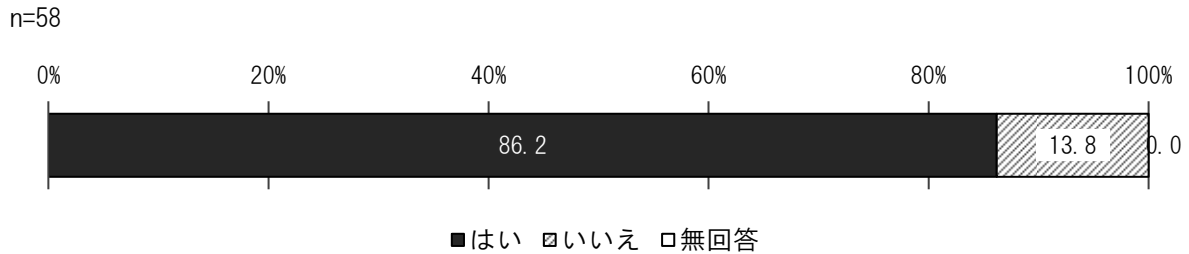
「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯（老老介護）」「近隣や地域と関わりをもたない世帯（孤立世帯）」が43.9%と最も多く、次いで「大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯（ごみ屋敷）」が34.1%、「自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯（ひきこもり）」が30.5%となっています。

n=82



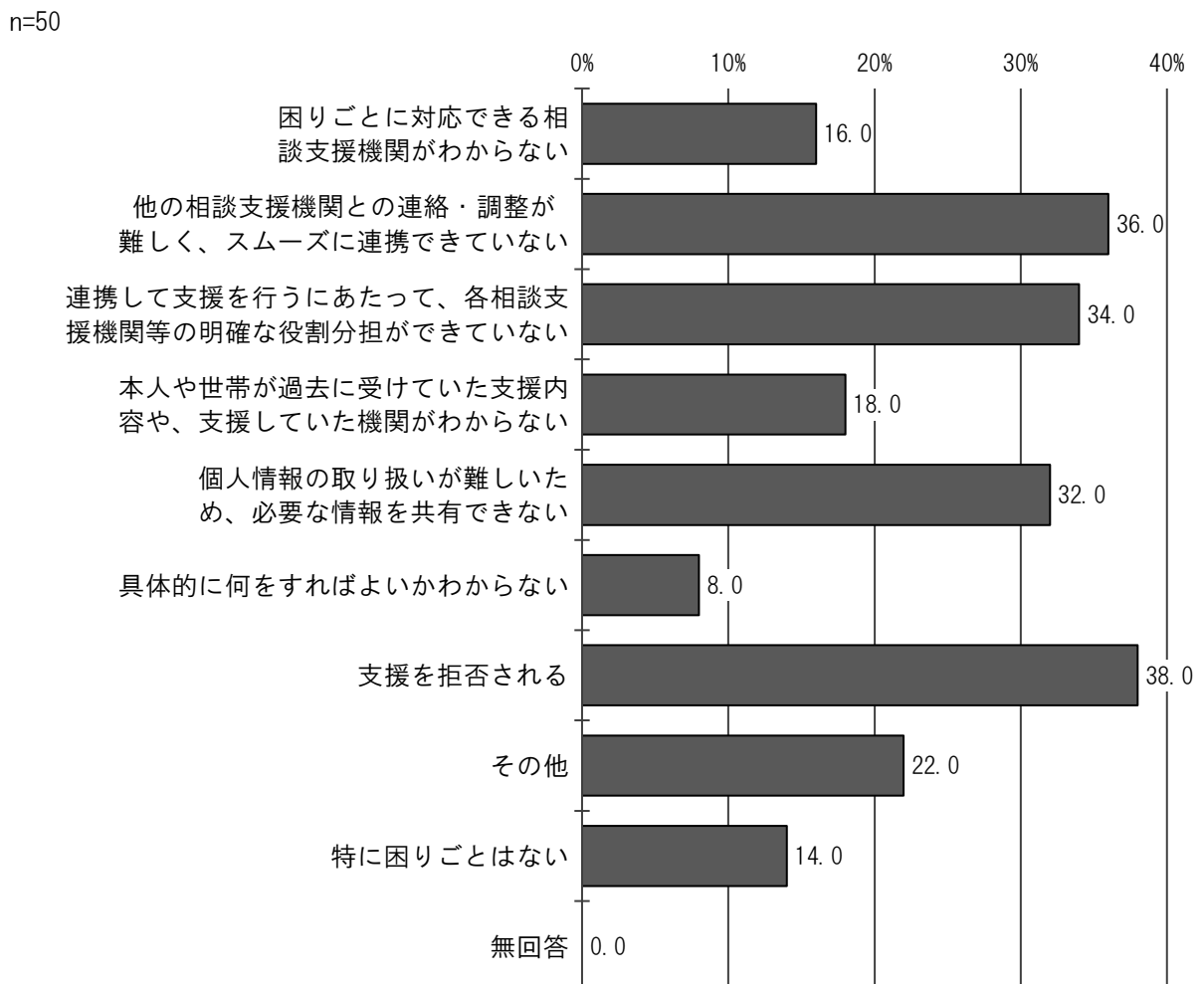
問11 問10で「1」～「9」（見たり聞いたりしたことがある）と答えた方
問10の1～9の項目の世帯を支援したことがありますか。 (単数回答)

「はい」が86.2%と、「いいえ」の13.8%を上回っています。



問12 問11で「はい」と答えた方
支援している中でどのような困りごとがありましたか。 (複数回答)

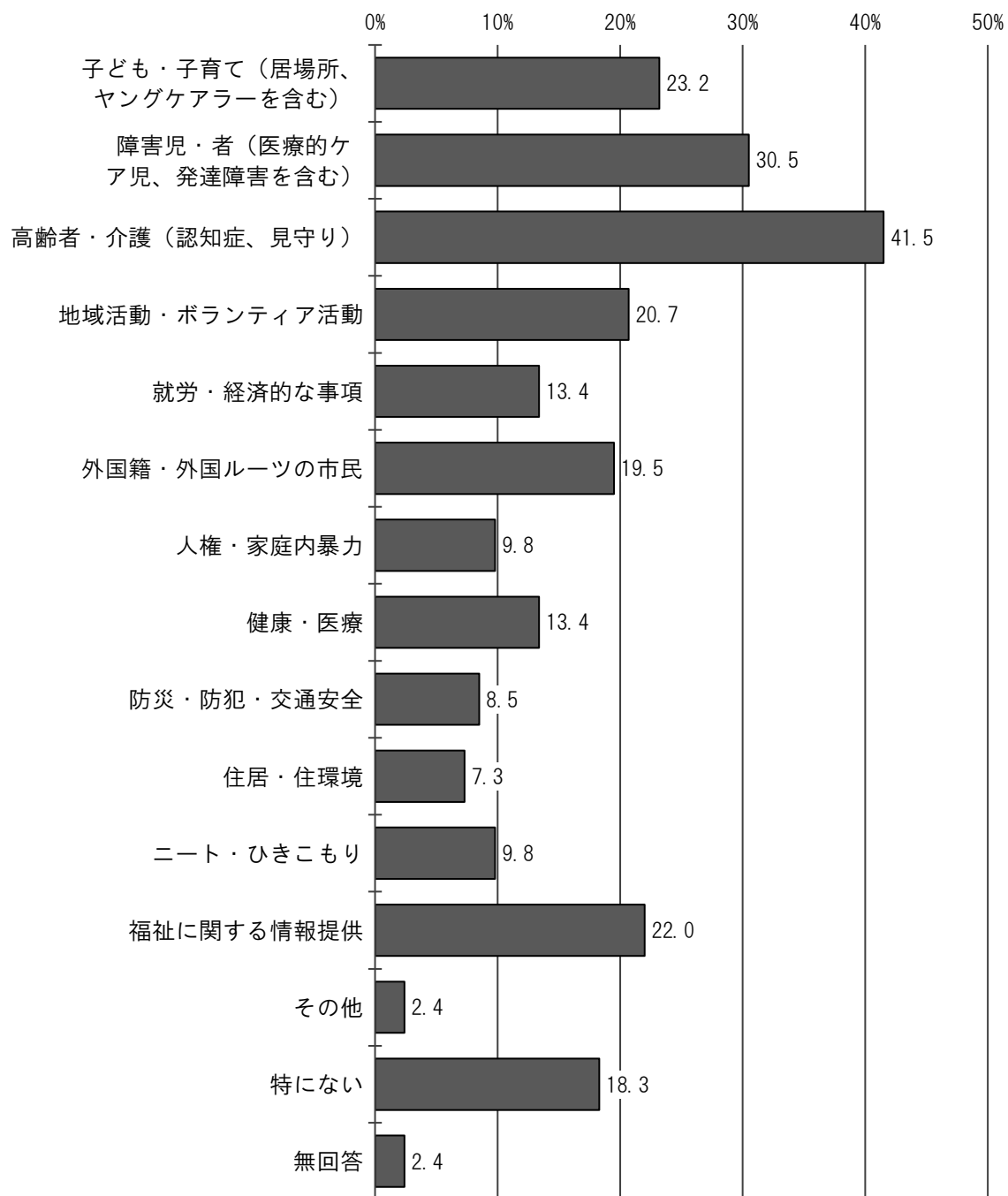
「支援を拒否される」が38.0%と最も多く、次いで「他の相談支援機関との連絡・調整が難しく、スムーズに連携できていない」が36.0%、「連携して支援を行うにあたって、各相談支援機関等の明確な役割分担ができていない」が34.0%となっています。



問13 そのほか、活動(事業)の中で市民の抱えている課題として気になっていることはありますか。該当する項目番号を記入し、それについて内容を具体的に記入してください。
項目番号 (複数回答)

「高齢者・介護(認知症、見守り)」が41.5%と最も多く、次いで「障害児・者(医療的ケア児、発達障害を含む)」が30.5%、「子ども・子育て(居場所、ヤングケアラーを含む)」が23.2%となっています。

n=82



項目番号	
1 子ども・子育て(居場所、ヤングケアラーを含む)	8 健康・医療
2 障害児・者(医療的ケア児、発達障害を含む)	9 防災・防犯・交通安全
3 高齢者・介護(認知症、見守り)	10 住居・住環境
4 地域活動・ボランティア活動	11 ニート・ひきこもり
5 就労・経済的な事項	12 福祉に関する情報提供
6 外国籍・外国ルーツの市民	13 その他
7 人権・家庭内暴力	14 特になし

団体区分	項目番号	内容
福祉事業者・教育機関	1	外国人児童の入所が増加している。言語の問題等でコミュニケーション不足が心配される。
NPO・ボランティア団体	1	子どもへの接し方が少し強すぎるのではと思う言動を見る。読み聞かせの最中、場をかき回す子どもがいる。友達への接し方が一方的でトラブルになるケースが多い。家で読み聞かせをしてもらえない子どもが少ない。
福祉事業者・教育機関	2	サービスの受入れやニーズとのマッチングの難しさ。
民間事業者	3	認知症の為、徘徊による迷子
NPO・ボランティア団体	3	一人暮らし高齢者が病気になったりケガしたりした時の対処の仕方。近くに世話をしてくれる近親者がいれば良いが身寄りのない場合はどうするか。
地域活動団体・関係者	3	家族の理解があるか？(家族が気付かない。)
地域活動団体・関係者	3	足が悪くて行けない高齢者を積極的に参加させたいが送迎の手段が無い。
NPO・ボランティア団体	3	高齢者1人家庭が多く、今後心配です。
その他	4	ボランティア活動がもっと「当たり前」の事となって欲しい。時間は自分で作るものだし、何でもやってみなければ。
地域活動団体・関係者	4	どのように訪問すればのきっかけが解らない。
福祉事業者・教育機関	6	基地の街という特性も有って事業を利用する方々が多岐にわたり言語のみならず文化の違いなどを含めた支援の必要性に苦慮する。
その他	6	コミュニケーションが上手に図れない。
福祉事業者・教育機関	7	母子で暮らしている。障害者の子は一般就労しており、グループホームへ入所できるだけの稼ぎはあるが、母親はその子の収入が無ければ生活することができず、子どもが希望されているグループホームへの入所を拒否している。

団体区分	項目番号	内容
地域活動団体・関係者	9	活動への若い世代の無関心。実際の災害時の活動の仕方で何が出来るか不安。
NPO・ボランティア団体	1, 6, 13	“虐待”とまでは言えずとも心配な様子の子供さんを見かけます。小学生のヤングケアラー？外国人の方への交通ルール（自転車）の説明を、市の転入手続き時や日本語学校などで徹底して欲しい。深夜、早朝の大声で会話しながらの二列走行を多く見ます。
福祉事業者・教育機関	13	社協他部署が対応しているのでそこを確認して頂きたい
NPO・ボランティア団体	1, 2	学校に行かない、行けない子どもが複数いる。フリースクール等に通っている子もいるが、基礎教育が十分か？多様性とは言われるが大人になった時、教育が不十分なために生活困難にならないか心配。 療養施設が足りないのか他市に通っている人の場合、保護者の負担が大きい。
福祉事業者・教育機関	1, 2	出来るだけ地域の拠点として手助けできればと考えている。
民間事業者	1, 2, 3, 12	相談支援専門員の不足のため、医療的ケア児の計画相談が立てられない。地域での居場所にも課題があると思う。
NPO・ボランティア団体	1, 2, 3, 4, 5, 6, 11, 12	フードバンクとして食品配布会を行っているので様々な事情を抱えた方も多くご利用になっています。特にひとり親家庭の経済的困窮、精神的不安、負担、孤独感は、私達ボランティアでも想像できないほど大きいと思われまます。先日のひとり親家庭向け配布会にて、一緒にいらっしゃったお子さんが、嬉しそうに準備したおもちゃを選んでお持ち帰りの際に保護者がこらえきれず涙を流されました。日々の生活を思い浮かべてのことかと思われ、私達ボランティアも胸をうたれました。私達ボランティア団体だけの運営では今後解決できない問題が増えてくる不安があります（運営費、人材確保、含め）行政のさらなるご協力を頂きたいです。
福祉事業者・教育機関	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 11, 12	様々な場面でニーズを持つ市民がどこに相談をしたらよいのかわからない。特に突然支援が必要になった時の相談先が思いつかない。その為どうしたらよいのか困惑してしまう。
民間事業者	1, 2, 3, 5, 8, 12	適切な医療、福祉サービス等につながないケースが散見します。家族皆なんらかの困り事を抱えている状況で、誰かに助けを求める方法が分からない。人につながることに不安を感じていることもあるのかもしれない。
福祉事業者・教育機関	1, 2, 6	お子さんの障害について理解を得られないケースが有り保育するにあたって難しい場面が有ります。親御さん自身が発達障害と思われるケースの場合にどのように伝えと理解して頂けるのか大変にデリケートな問題の為に対応が難しいです。外国籍の方も感覚が違うので説明をしても理解して頂くのが難しい事が多く言葉の壁も有って対応に困る事が多々有ります。

団体区分	項目番号	内容
福祉事業者・教育機関	1, 2, 6	不登校、育児不安。発達障害の判定は無いが配慮を必要とする子への育児不安。必要な情報が正しく伝わらない。
福祉事業者・教育機関	1, 2, 6, 11	ヤングケアラーの実態把握と支援方法を知りたい。 障がいを抱える子の行き場（放デイが見捨てる家庭）。 日本語で困っている子どもの把握、支援の方法。 支援の仕方、協力機関。
NPO・ボランティア団体	1, 3, 5, 6, 8, 10, 11	外国籍や外国ルーツが問題ではなく日本で生活する為の在留資格とその資格で利用可能な制度の問題が大きい。就職活動の為に日本語力に大きな課題が有る方も多く就労に依る自立が困難な場合が有る。
NPO・ボランティア団体	1, 3, 6, 10	シングルマザーで4～6人の子どもがいて、食生活が安定していない。食品をお渡しすることがある。 介護保険の利用者で認知症もあるが精神疾患がある方が目立ってきた。（増えてきた） 高齢者で家族が病院同行できないとき、ケアマネが同行するが、医師とのやりとりで言葉のカベがある。 介護につながってきた高齢者世帯が所有する家が、施設入所により空き家となっていく。早めに情報を共有することで空き家再生につながる仕組みがあるとよいかも。
医療機関	1, 3, 8	不登校、学校教育そのもの。 重症化する前に専門職の早期介入による問題解決。
福祉事業者・教育機関	1, 4, 6, 7, 9, 11	十分な食事が取れない家庭が有る。新規参入が少ない。地域との関りが薄く住民との関係を築きづらい。
福祉事業者・教育機関	2, 3, 4, 5, 8, 10, 11, 12	全項目、社会資源（フォーマル、インフォーマル）の地図。
NPO・ボランティア団体	2, 3, 5	高齢の親の介護、施設への入所により親への思いから入所させた罪悪感。精神障害をお持ちの方、人間関係から仕事が上手く行かず解雇され次の仕事を探す不安、離婚問題の悩み等。
福祉事業者・教育機関	2, 3, 6, 9, 12	交通ルールやマナーなどが難しい、高齢者や外国籍の方々自由すぎて危険です。自転車通行が特に気になります。

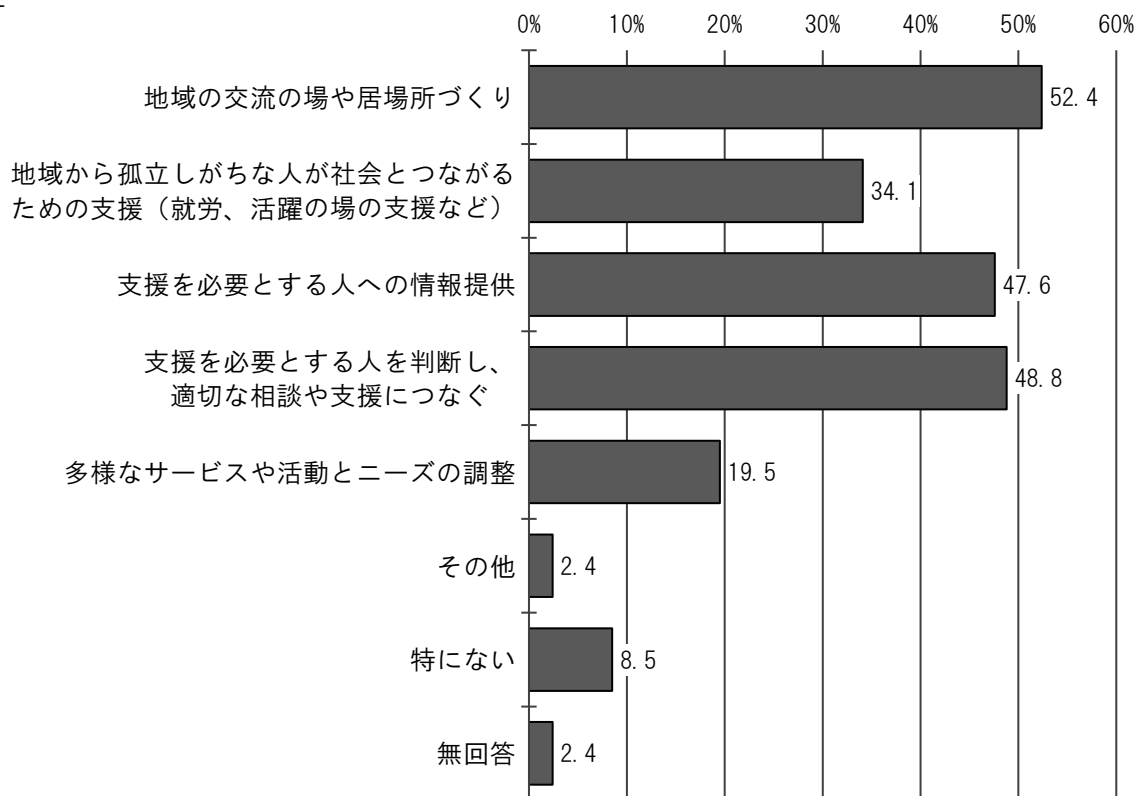
団体区分	項目番号	内容
その他	2, 3, 7, 10, 11, 12	<p>児童発達支援センターが完成したことに感謝しています。本来は毎日高い専門性の療育を受ける場所であるので、是非、毎日通ってくる子が増え、幼稚園・保育園の他の第三の通園場所として存在を高めてほしい。</p> <p>障害児・者の家族（とりわけ親）はその子を残して先に逝くことにとつともなく大きな不安を感じています。特に1人っ子的場合は、自分の老後や死後のことも考えなくてはならない。課題が多いと感じる。</p> <p>障害者の終の住処問題。入所施設の減少で特に重度障害者の行き先がなく困っている。それこそ、地域で生きていくため、市内に各種障害に対応したグループホームの増設が急務。8050 問題、ひきこもり中、いろいろなケースを目にします。親が老いて動けなくなる前に！！</p> <p>孤立を防ぎ、悩みや不安の吐露、情報共有が大切と感じている。</p>
NPO・ボランティア団体	2, 4	会員の減少が有り増員の為の手段を模索中。
NPO・ボランティア団体	2, 4, 12	点訳を希望する方とつながれない（個人情報）。
その他	2, 3, 5	認知症になっていると思われる高齢者に家族がいない場合、どちらに相談すべきか分からない時がある。
福祉事業者・教育機関	2, 5	障害者の就労が難しくなって来ている。
福祉事業者・教育機関	2, 5, 11	<p>就労先が遠方であることが多く、「長時間の通勤に耐えうるか」というポイントが障壁になっている。地元・近隣で働ける企業の開拓をしていく必要がある。</p> <p>両親が高齢化し「親亡き後」の生活を見通すことができないケースが多い。</p>
地域活動団体・関係者	2, 8, 12	<p>障害児・者が気楽に参加できるスポーツ教室などが無い。</p> <p>窓口に行かないと聞けないことがある。障害がある人は窓口へ行くことや調べることも難しいこともあると思う。</p>
医療機関	3, 12	高齢者の独居に家族や親戚等が遠方や協力を中々得られない事がある。介護保険、成年後見人等聞いた事は有ってもどのような事なのか申請の仕方等周知がされていないと感じる。
福祉事業者・教育機関	3, 4, 6, 8, 10, 12	中国語、スペイン語の通訳ができるボランティアさんがみつからず、意思疎通が困難な事がある。受診や介護サービス利用時だけでもよいので、無償もしくは低額で通訳して下さる方が必要。
福祉事業者・教育機関	3, 4, 7, 12	認知症の家族や親族の面倒を見る事になった際に具体的にどのような地域行政の援助を受けられるかと言った情報提供発信が出来る体制の拡充が重要であると思う。それが行き届いていないと介護者の孤独化、孤立化が進み家庭内での暴力や虐待に繋がって行くと思われる。

団体区分	項目番号	内容
地域活動団体・関係者	3, 4, 8, 12	<p>高齢者夫婦の世帯で外に出ない為、デイサービスなど説明し 1~2 回通所したがやめてしまった。最近では夫婦で時々散歩しているので見守っている。</p> <p>小地域福祉活動を月 1 回の割合で計画実施している。その際スタッフが気になる高齢者世帯、独居世帯にチラシを持参し、見守り、声掛けをしながら変化があれば民生委員から地域包括センターにつないでいる。</p> <p>小地域活動の際、高齢者福祉の方や社協の方に参加してもらい情報提供してもらっている。</p>
地域活動団体・関係者	3, 6, 12	<p>地域の中で本当に必要な情報が入ってこない現状がある。見た様子では状況は分からない。</p>
民間事業者	3, 7, 8	<p>働き世代、不健康な方が多いと感じる。生産性が議論されているが、土台の健康が重要だと思います。体力がないと介護の仕事は務まらない。</p>
福祉事業者・教育機関	3, 9	<p>認知症の独居の方が多く介護サービスを受けているが家族の負担も大きい。詐欺に遭っているが気付くのに時間が掛かる。</p>
NPO・ボランティア団体	-	<p>視覚障害者へ音声での市の情報 CD を作成しているが障害者の数に比べて利用者がわずかである。紙面で伝えているが視覚障害者へは届いてなく情報の伝達と利用者増が大きな課題である。</p>

問 14 地域共生社会の実現に向けて、貴団体・事業者として貢献したいと思うことはありますか。（複数回答）

「地域の交流の場や居場所づくり」が52.4%と最も多く、次いで「支援を必要とする人を判断し、適切な相談や支援につなぐ」が48.8%、「支援を必要とする人への情報提供」が47.6%となっています。

n=82



問15 問14の回答について、具体的にできることや、うまくいっていないことなどがあれば教えてください。(自由記述)

団体区分	(1) 団体・事業者等にできること	(2) うまくいっていないこと・課題等
福祉事業者・教育機関	交流、相談の場の提供。	単体の事業者だけでは担いきれない事も多い。
福祉事業者・教育機関	事業所の特性を通して他の機関との協働を行う中で連携貢献をして行く事。	事業が始まって間もないので地域の中での事業所の立ち位置、発揮すべき専門性など把握できていない事。
福祉事業者・教育機関	施設の屋上をカフェとして開放し地域の方との交流の場として提供して行きたい。	-
福祉事業者・教育機関	社協としての役割を今後も実践していく	-
福祉事業者・教育機関	地域の拠点として子育て支援ができるように近隣の方への声かけなど積極的に行っている。	-
福祉事業者・教育機関	声を掛けてもらえば相談に応じることはできる。	まだ具体的な活動をしていない。
福祉事業者・教育機関	1~5 について既に行っているが特に1の交流の場の創設を進めたい。	-
福祉事業者・教育機関	利用者と共に地域活動に参加すること。利用者の強みと地域の強みをマッチングして交流を広げていく事。事業所自体が地域の社会資源に育っていく事。	市内の社会資源を活用し、または新たに創り出す経験が不足している様に感じている。お互いの強みを活かせる場の創出が必要。
福祉事業者・教育機関	生產品販売の機会を利用して、相談窓口や情報提供を行う。	人材不足で、事業所内で手がいっぱい、余裕がない
福祉事業者・教育機関	まずは法人内の事業所での連携を強め、必要に応じて法人外にも広げていけるように準備をしている。	どの事業所も既にいっぱい一杯で余裕がなく、目の前の支援で手一杯になっている。
福祉事業者・教育機関	住民のニーズに合わせたサービスの提供、情報提供。	場所の確保が難しい。
福祉事業者・教育機関	地域包括や居宅との連携、情報共有。	-
福祉事業者・教育機関	具体的にはまだみつかってないです。	-
福祉事業者・教育機関	-	関係機関（行政の施設）との連携。
医療機関	介護を必要とする世帯への声掛け。	包括支援センター、高齢福祉課とより強く連携し、専門職の早期介入する事で、環境の改善を図る。

団体区分	(1) 団体・事業者等にできること	(2) うまくいっていないこと・課題等
医療機関	クリニックに通院されている患者様や家族へのオレンジカフェ案内。	クリニックに通院されていない地域の方々へのオレンジカフェの周知が難しい。
民間事業者	属性を問わない相談支援。断らない相談支援体制。	本人の居場所。ピアサポート支援。伴走型支援。まだ機能されていないのではないか、全てにおいて担い手の不足を解消する必要があると思う。
民間事業者	居場所、相談の場として「暮らしの保健室」のようなものを設置したいと思っている。	人の確保、配置等予算的な問題が大きい。場所、人（看護師、CM、ヘルパー等の職種）。
民間事業者	サービス内での提供だけでなく、それ以外の方にも利用頂ける事業所が理想と考えます。現状は一部のお年寄りの集まりですが、幅が広がればもっと良くなると思います。	会社もスタッフもたくさんのアイデアを持っているが、実行はできていない。目の前の仕事が優先で、先のことはできていない。
地域活動団体・関係者	サロンに来る人に楽しい時間を過ごして貰う事。	地域の人にサロン活動を知って貰って沢山の人に来て貰いたい。
地域活動団体・関係者	近所で様子を伺ってから包括につなげるようにしています。	-
地域活動団体・関係者	日常生活用具の情報や使い方の提供	-
地域活動団体・関係者	現在、知的障害がある人の居場所づくりをしている。	-
地域活動団体・関係者	1. 月1回程度様々なイベントを計画し、短時間ではあるが地域の方々との交流、居場所づくりを心掛けている。2. 社協職員による血圧測定等で情報共有し病院等で受診する等説得している。3. 特殊詐欺等に会わないよう福生警察とも協力。	1. 天候によって参加者の人員が左右される。2. 町会の会館を借用しているが、クーラー等の冷暖房やマイク、スタンドの設備が不足。
地域活動団体・関係者	地域の状況は中々分からない為、意識していかないとと思う。	-
NPO・ボランティア団体	子どもの着衣等を見たり、行動を観察して問題がありそうな子どもを児童館に知らせる。	短時間の接触なので把握しきれない。
NPO・ボランティア団体	出来るだけ交流の場を作りお話を聴く。	元気な方は自分から出掛ける事が出来るがそうでない方への対応。
NPO・ボランティア団体	食事提供時間外に居場所に使ってもらっている。	ボランティアであるために仕事の合間の活動となる。必要とする人に十分な時間活動出来ない。場所貸しには気の置けない信頼できる人と分かるまで出来ない。

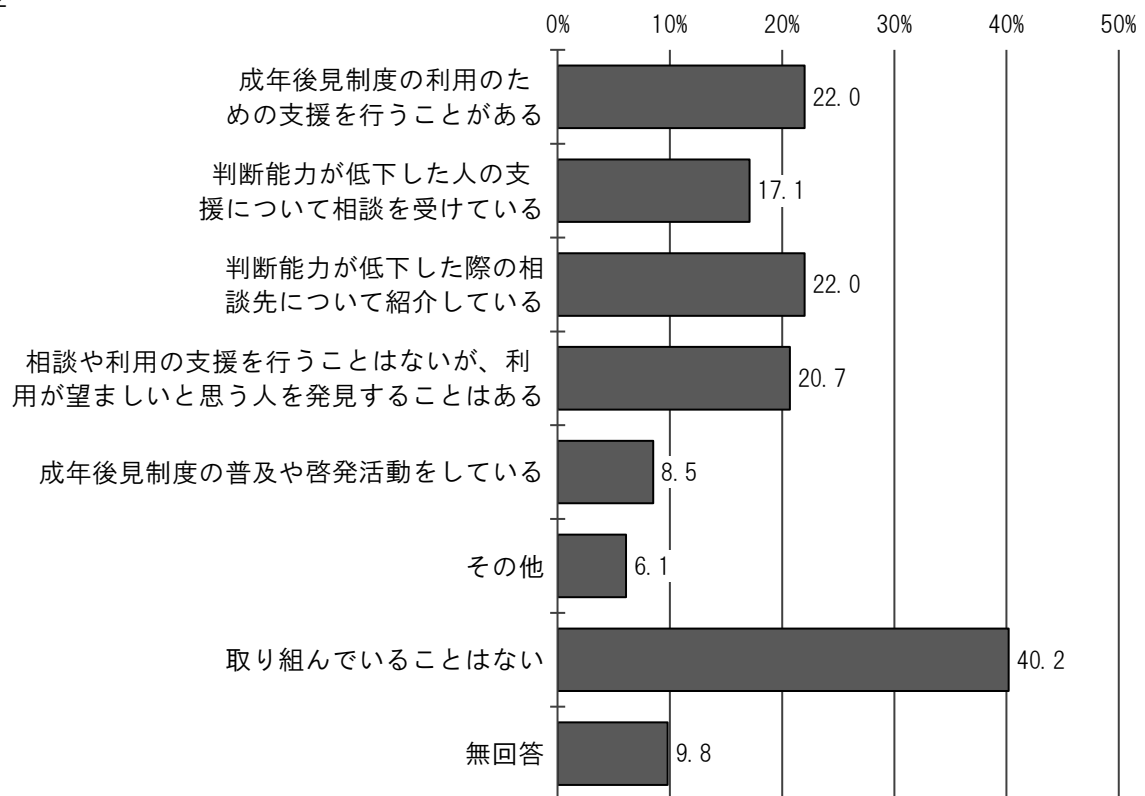
団体区分	(1) 団体・事業者等にできること	(2) うまくいっていないこと・課題等
NPO・ボランティア団体	食品配布を通じて支援。	本当に支援が必要な方の利用より不必要な方が多く利用しているようで本当に必要な方に情報が伝わっていないのではないか。
NPO・ボランティア団体	行政や社協等の公的な機関と連携し広く支援を届ける為に受け身の支援から届ける支援へ変革する為の体制作りと他機関との連携を進めている。	体制作りに年単位での時間が掛かる。
NPO・ボランティア団体	1. 子ども食堂、体操教室、無料塾の開催で人をつなぐ場をつくる。 2. 会社を定年した人、発達障害グレーゾーンの人の雇用。 3. 紙媒体・SNS で発信。 4. フードロスを含むや市役所から連絡を受けて食品お渡し、連携。	5. コミュニティソーシャルワークとして社協が事業化して担っていくように関わってほしい 3. 必要な人に届かない 口コミが最強なので多くの人に知らせる取り組みが必要
NPO・ボランティア団体	傾聴をする中で体調の事、認知の進行、生活での様子等気になる事を社協に伝えて支援につなげて貰った事が有る。	個人情報保護の点からボランティアが出来る事は限られている。
NPO・ボランティア団体	-	障害者への情報提供と利用者増。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓もう活動。 ・ 障がい児・者の余暇活動や地域への参加。 ・ 集う場や機会の確保。 	小さな、いちサークルでは想いはあっても出来る事が限られています。市報等を利用して、名も知らぬ団体の呼びかけには反応も少ないことがあります。「親なき後」の自助学習会の参加登録は60名を超えましたが、ほぼ口伝えのPRでした。やはり公的機関の共催や後援、(または市などが主催されることへの協力など) でないと発展していかない。
その他	高齢者向けに就労の場を与えることができる。当センターで就労している高齢者で認知症と思われる方がいた場合、家族等に報告することができる。また、就労を通して孤独死等の防止ができる。	地域に知名度があまりない為、会員数が増加しない。
その他	-	空店舗対策、お店の閉店。

(4) 権利擁護支援について

問 16 活動（事業）の中で、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援などを行うことがありますか。 (複数回答)

「取り組んでいることはない」が40.2%と最も多く、次いで「成年後見制度の利用のための支援を行うことがある」「判断能力が低下した際の相談先について紹介している」が22.0%、「相談や利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある」が20.7%となっています。

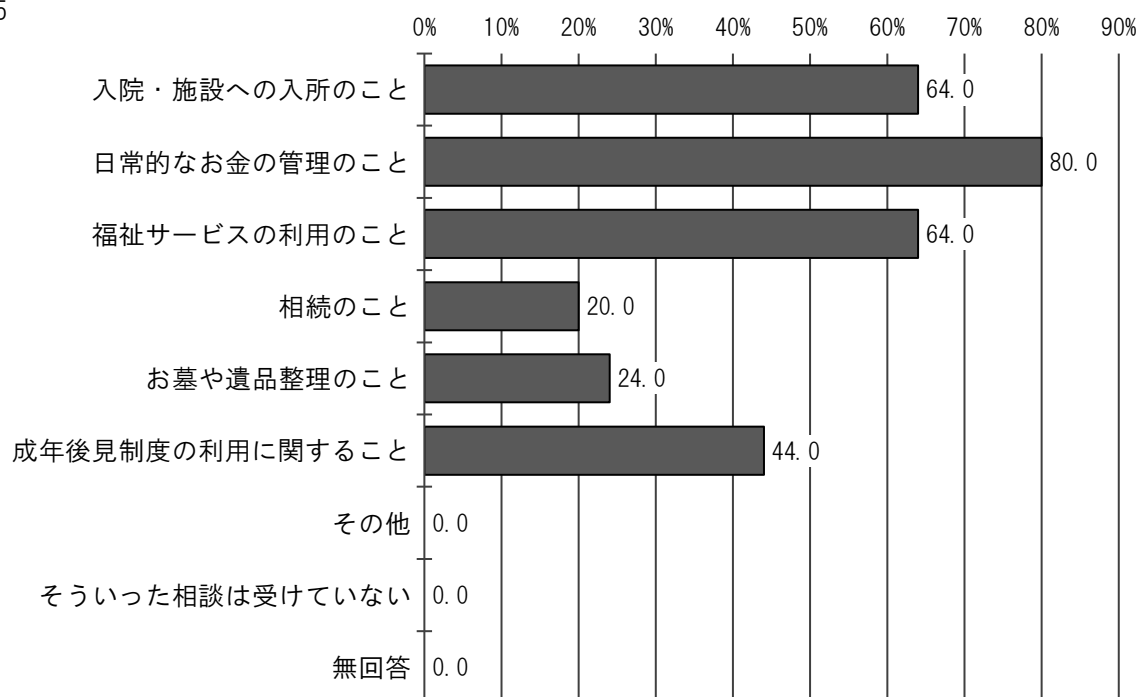
n=82



問17 問16で「1」「2」「3」（成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援などを行うことがある）と答えた方
その際、どのような困りごとや相談が多いと感じますか。 (複数回答)

「日常のお金の管理のこと」が80.0%と最も多く、次いで「入院・施設への入所のこと」「福祉サービスの利用のこと」が64.0%、「成年後見制度の利用に関すること」が44.0%となっています。

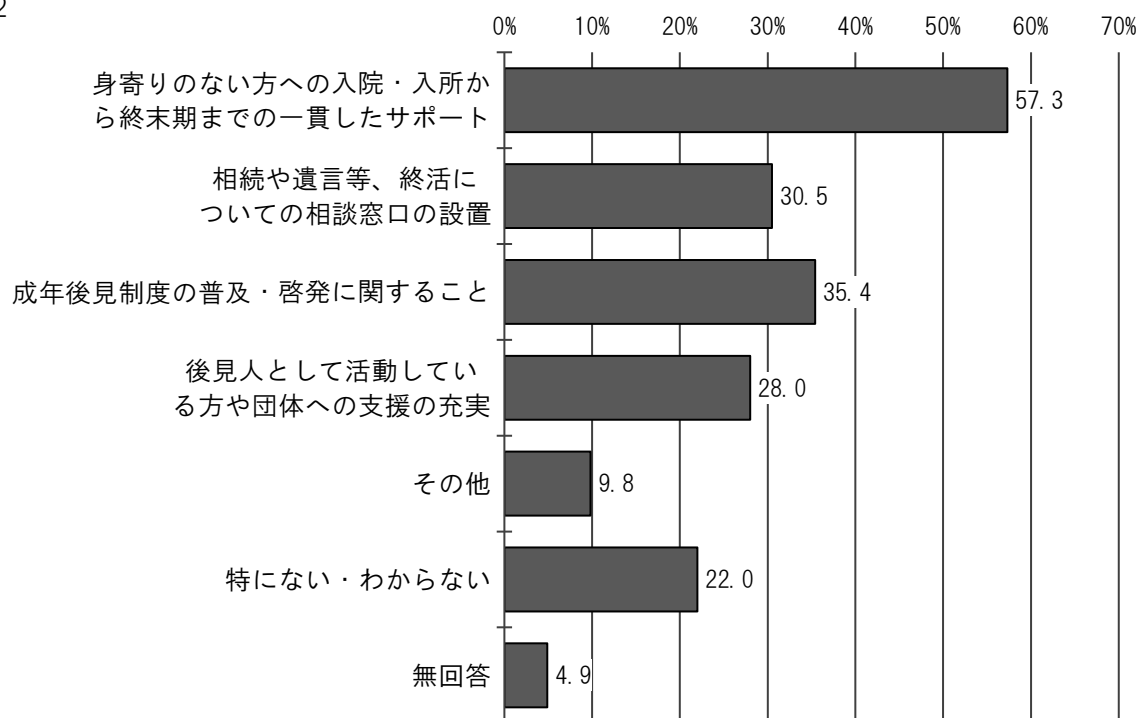
n=25



問 18 権利擁護支援について、今後どのような取組が必要だと感じますか。（複数回答）

「身寄りのない方への入院・入所から終末期までの一貫したサポート」が57.3%と最も多く、次いで「成年後見制度の普及・啓発に関すること」が35.4%、「相続や遺言等、終活についての相談窓口の設置」が30.5%となっています。

n=82

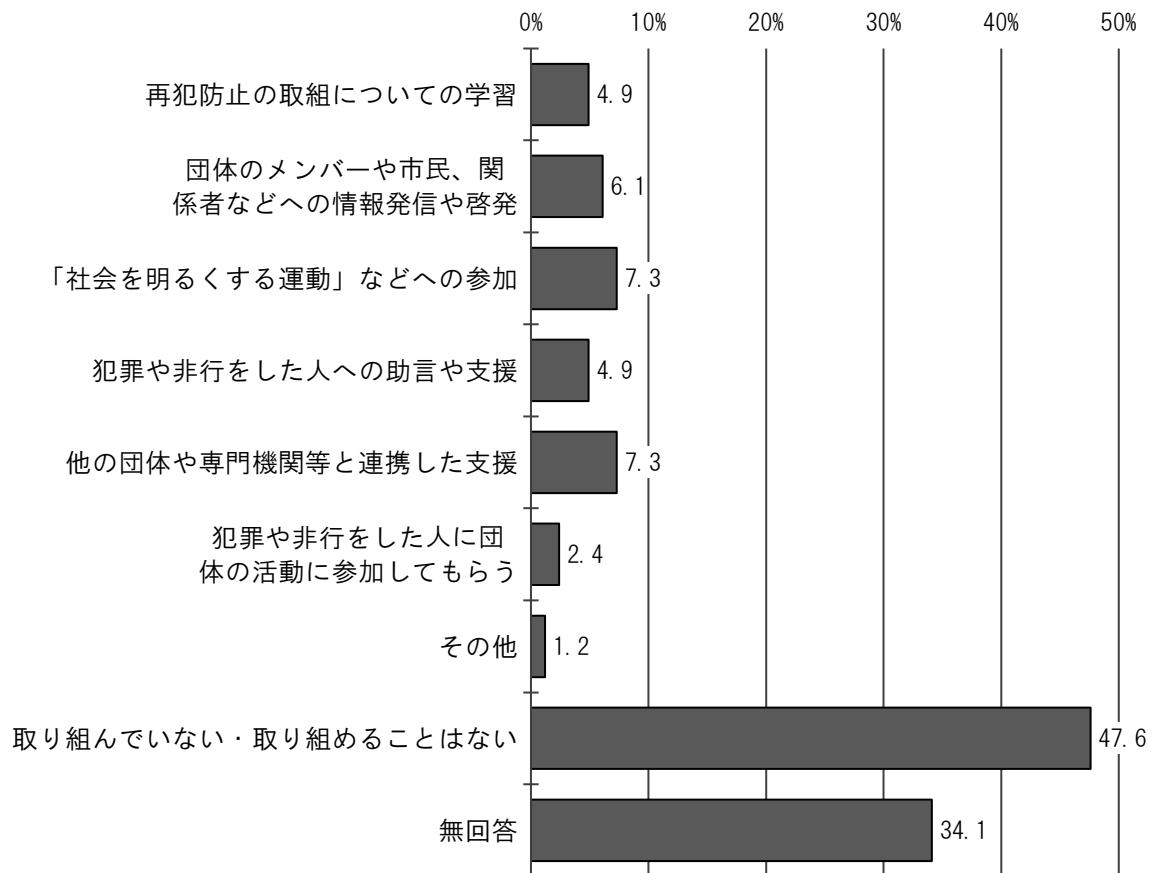


(5) 再犯防止について

問 19 再犯防止の推進のために、貴団体・事業者が①現在取り組んでいること、または②今後取り組んでいきたいことはありますか。(①②それぞれあてはまるものすべてに○)
①現在取り組んでいること (複数回答)

「取り組んでいない・取り組めることはない」が47.6%と最も多く、次いで「社会を明るくする運動」などへの参加」「他の団体や専門機関等と連携した支援」が7.3%、「団体のメンバーや市民、関係者などへの情報発信や啓発」が6.1%となっています。

n=82

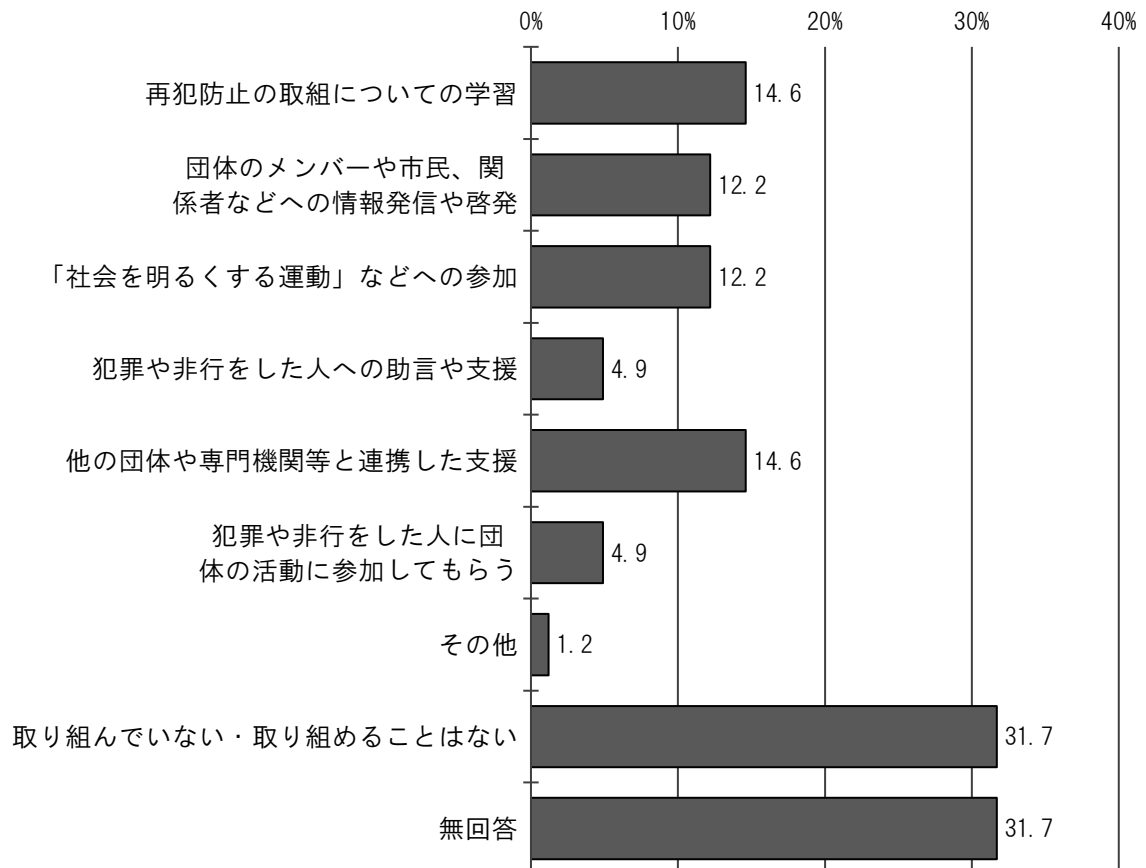


②今後取り組んでいきたいこと

(複数回答)

「取り組んでいない・取り組めることはない」が31.7%と最も多く、次いで「再犯防止の取組についての学習」「他の団体や専門機関等と連携した支援」が14.6%、「団体のメンバーや市民、関係者などへの情報発信や啓発」「社会を明るくする運動」などへの参加」が12.2%となっています。

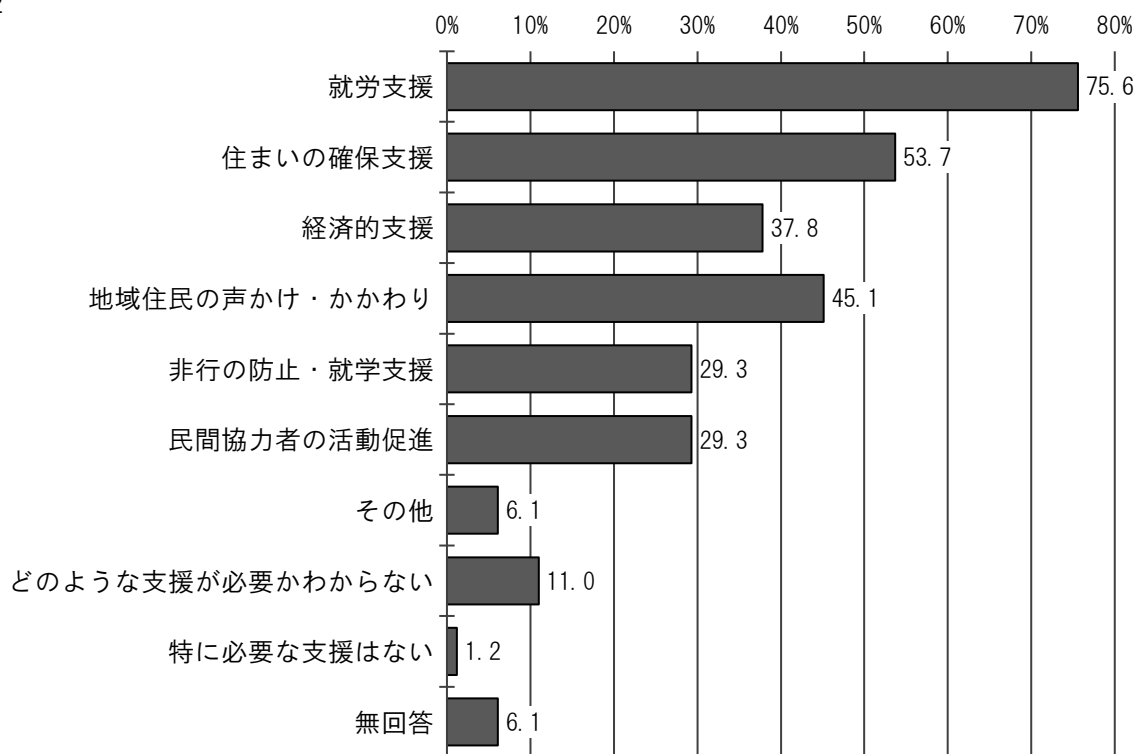
n=82



問 20 犯罪をした人が更生して地域で生活する場合に必要な支援は何だと思えますか。
(複数回答)

「就労支援」が75.6%と最も多く、次いで「住まいの確保支援」が53.7%、「地域住民の
声かけ・かかわり」が45.1%となっています。

n=82



(6) ご意見・ご要望等

地域福祉推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。

団体区分	内容
福祉事業者・教育機関	地域の中での保育園が協力して出来ることをこれからも行っていきたいと思います。
福祉事業者・教育機関	地域の関係性が希薄になっている現代社会だが、気持ちを持っている市民もいる。その市民のバックアップや活躍の場の促進、子ども達への地域教育も必要と思う。故郷を想う心を育てていくことは大切であると思う。好きになるように。
福祉事業者・教育機関	問 20 に対しては、再犯防止が強く推し進められた場合に行うべき支援。支援の方が先に充実することは望まない。
福祉事業者・教育機関	少子高齢化や家族形態の変化等社会の変化に伴い住民の抱える課題は、複雑化・複合化・多様化している。本人や家族の努力だけで課題を解決することや、一人ひとりの課題に公的な支援で対応することは難しい。自助・公助には限界があり、これらをカバーするために共助への期待が高まり、地域において共助の広がりと自主性を高めていくことが重要である。さらにアウトリーチに力を入れ、相談や支援に自らつながることが出来ない人についても、地域や支援につなげることが重要である。誰もが繋がりをもち、相互に支え合える地域づくりが今求められている。
医療機関	アンケート内容以外では、自殺防止のゲートキーパー活動にも関心があります。
民間事業者	地域共生社会とはお年寄りも子供も障害をお持ちの方もみんな一緒に暮らしていく。この地域で自分らしく助け合って、高めあっていくことだと思います。そのためには、1. 制度、分野の垣根を取り払う。2. 支え手と受け手の関係性を取り払う。3. 排除しない。4. 丸ごと受け止め、包括的な支援。以上が必要だと思います。また、IPW 多職種連携が必要になってくると思います。
民間事業者	いろいろな課題を地域の課題としてとらえていく事は、人と人との関わり、つながり、関心を持つことが重要になってくるとアンケート記入しながら思いました。
地域活動団体・関係者	高齢となり会員と参加者が減ってきている。皆さん、若いつもりが多くなっている。
地域活動団体・関係者	サロン活動をして良かった事は地域の高齢者がどのような事で悩み、一緒に考え解決に向けて共に動けた事です。それとスタッフの近所の高齢者への見守りの意識が高い事です。
地域活動団体・関係者	マンションに住んでいます。入居当時は子供達多く賑やか活気ありましたが、50世帯中、残り住むのは8世帯で独居ほとんど、淋しいです。その中、進んで地域とまでには無理で体調の低下で大変静かな住まいになっています。その中、元気な3名ほどの住人を地域の会に誘うことが私の役目になっています。

団体区分	内容
地域活動団体・関係者	活動始めて20年になります。最近は町会に入る方も減り、近所にどんな人が住んでいるのかも分からなくなっています。ある方が25年間住んでいるけれど、町会に入っていないでも困らなかったと云っていた方が、家に孫が生まれたらやはり町会の行事に参加させてやらなくてはと（夏まつり、盆踊り、桜まつり）町会に入会しました。いろいろな行事に積極的に参加してくれています。やはり地域にある町会が大事になっていくのでしょうか、と考えます。
地域活動団体・関係者	個人情報重視されているため集まりのお知らせをしたくても年齢が分からないため、お誘いすることが出来ないで困っています。団地ですので出入りが多いので。
地域活動団体・関係者	知的障害、その他障害がある方向けのスポーツ教室が不十分です。パラスポーツの時間帯は事業所で働いている方は参加できない時間帯です。年に数回ではなく定期的にできることを考えて下さい。
地域活動団体・関係者	現在は高齢化が進み、共稼ぎ世帯も多く、定年の年齢も上がり、各町会共に町会離れで地域の交流が減少している今、地域を知ってもらい交流出来る方法を考えることが大切な時期で、子ども達を通じて保育園や学校、町会や老人会等と連携した行事活動を通じて「わ」作りが必要かな。
NPO・ボランティア団体	高齢化、経済悪化により携われる人が年々減少している。ボランティアに頼るのは限界があると思います。又、支援が必要な方を見つけ出すものそれぞれの事情で難しいと思います。一人一地域担当で細かく区割りして支援できるように体制づくりと一貫して支援ができるよう、システムを構築していくことができればと思います。
NPO・ボランティア団体	傾聴ボランティアは地味な活動ですが施設訪問して老人の方の表情が最初と最後では明るくなり聴くという事がとても大切な活動だと改めて感じさせられ、これからは続けて行きたいと思います。
NPO・ボランティア団体	再犯防止のための更生施設を市でつくり、そこに市民（民間事業者等）が協力して運営していくシステムをつくるのは？
NPO・ボランティア団体	社会的、経済的にも生きづらい時代だと思います。子供達、孫達が未来に夢を持てるような日々の生活が営まれる社会であることを期待します。今、私ができることの一つとしてボランティアに参加しています。
NPO・ボランティア団体	地域共生社会は良いが、実際は困っている人が図々しい人なのかも知れない。しかしその曖昧さ、行政にない堺のなさが好まれているところでもあるので、活動しながらよりよい場所へと進みたい。
NPO・ボランティア団体	行政のボランティア団体に対する支援や共感をより多く願います。現在も様々なご協力を頂いておりますが私達ボランティアだけでは力不足な事も多く不安な要素で継続を断念しなければならないかも知れませんのでよろしくお願い致します。
NPO・ボランティア団体	地域福祉計画と連動して、地域福祉活動計画があるがその計画を作る際に他市のように住民座談会を開催したりして、市民の声やニーズを聞いた上で、社協職員が活動計画（アクションプラン）を計画策定するだけの実力を発揮してもらいたい。民間と協働して、現場や地域の情報を市役所には共有してほしいと思う。

団体区分	内容
NPO・ボランティア団体	電話傾聴を通じて利用者の方の見守り活動を行っています。3年目に入り信頼関係も出来て来ました。日々の生活での困り事やぐち等を話す事で心が軽くなったり元気になって頂けていると感じます。傾聴講座修了者の新たなスタッフを増やしたいです。
NPO・ボランティア団体	アンケート調査なのは承知しましたがボランティア団体が回答するには内容が難しく抽象的でした。選択肢も当てはまる時は多数有る反面、設問が活動には結びつかず回答出来ないものも有りました。回答の際の注意事項などを提示して頂けると回答し易くなると思いました。
その他	福祉関係事業関係者のあまりにも低賃金には驚く。ボランティアとしてそばから見ている立場だが、それでも頑張る職員に頭が下がる。
その他	私たちは障がい児者と家族の会です。自分の子が障害児をもっているとわかった時の苦悩は忘れられませんし、成長した今も、そして今後も折りふれ、くり返されるものと思います。この心の支えは専門の医師や施設・機関だけではなく、同じ立場の者です。どこかでお役に立てることがあればいつでも協力いたしますし、また私たち当事者の生の声を聞いていただける機会も欲しいと感じています。数年毎のアンケートなどでは捨えない。日々戦っているリアルを届けたい。
その他	当会には高齢の方々が加盟され各々地域や施設の慰問などに活躍しています。元気な高齢者でいる事に文化芸能活動寄与している事、地域の方々に元気を与えられると自負し活動して行きたいです。